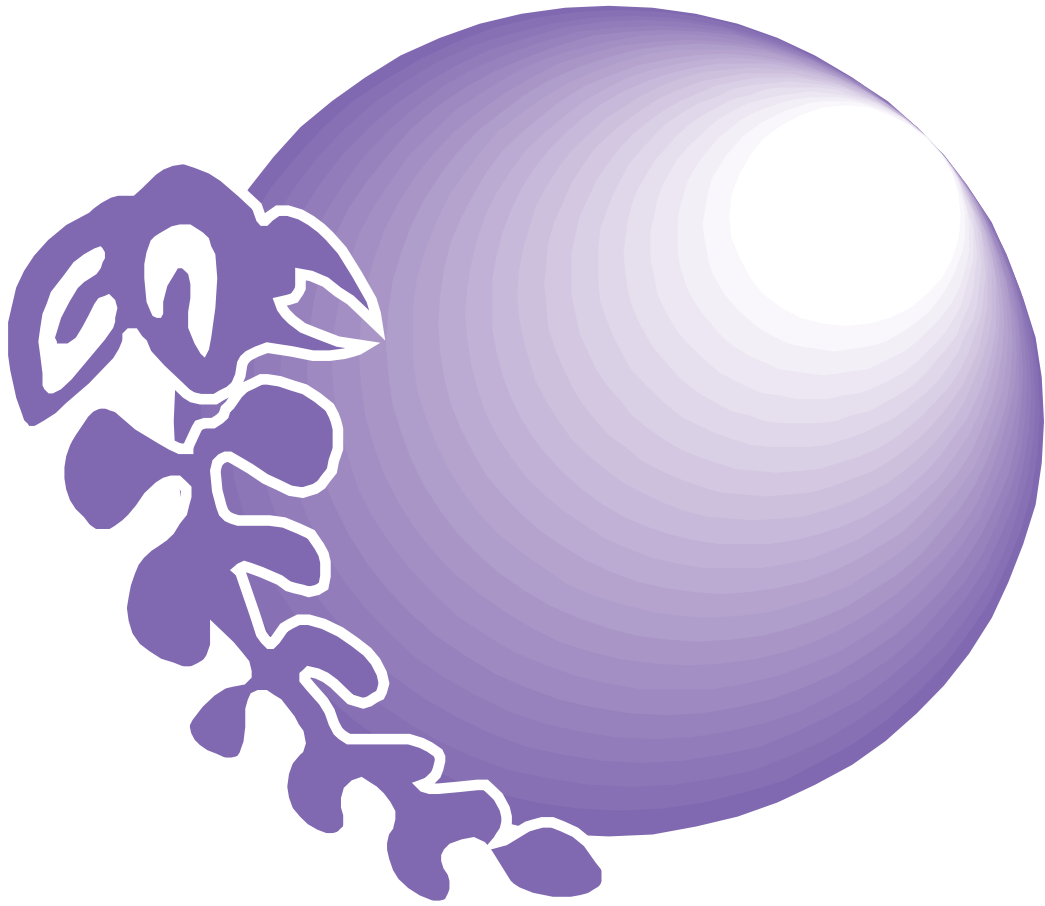


令和6年度

事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)



学校法人 **高崎健康福祉大学**

令和6年度 事業報告書 目次

理事長挨拶	1
1 法人の概要	
1-1 建学の理念、教育方針、設立目的	2
1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況	2
1-3 学園の沿革	3
1-4 役員・評議員・教職員の概要	5
1-5 学校法人組織機構図	8
2 事業の概要	
2-1 入学試験の状況	9
2-2 卒業者数、修了者数	10
2-3 トピックス	10
2-4 施設設備	16
3 財務の概要	
3-1 計算書類等	17
3-2 事業活動収支計算の推移	25
3-3 事業活動収支計算の推移のグラフ	26
3-4 財務比率の推移	28
3-5 資金収支計算書	29
3-6 資金収支計算書 収入の部	29
3-7 資金収支計算書 支出の部	29
3-8 活動区分資金収支計算書	29
3-9 事業活動収支計算書	30
3-10 貸借対照表	30
3-11 監査報告書	31

理事長挨拶

学園理事長 須藤賢一(農学博士)

■ 略歴

- ・北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
- ・農林水産省森林総合研究所成分利用研究室室長
- ・ポストドクターとしてカナダ・サスカチュワン大学化学工学科で研究活動
- ・平成3年から群馬女子短期大学副学長として学園に赴任、以降同短期大学学長、学園理事長として現在に至る
- ・群馬県私立大学協会会長
- ・ぐんま地域・大学連携協議会会長
- ・高崎市緊急創生会議委員長
- ・高崎映画祭運営委員長
- ・公益財団法人高崎財団理事



新たな価値を生み出すために大切なのは「人間力」

人工知能やロボットの技術革新により人々の生活が豊かで便利になる社会(Society 5.0)はすぐそこに迫っています。全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない価値やサービスを生み出します。これからの社会で新たな価値を生み出すために私たちが養うべきもの、それは人間にしか持ち得ない課題発見・問題解決能力であり、コミュニケーション能力です。

この新たな社会システムでは、就業形態も今とは大きく変化し、職業によっては消滅せざるを得なくなるかもしれません。

高崎健康福祉大学は2001年に開学した若い大学ではありますが、これまで取り組んできた、「食と農」、「医療技術と福祉」、「薬学」、「保育と教育」、そして「医療と情報」などはどんな時代でも私たちの生活に欠かせないものです。

そして、これらは高崎健康福祉大学が開学以来掲げてきた「自利利他」の精神とも一致します。一人ひとりが社会のため、人のために何ができるかを考え、実践する。Society5.0の社会で求められる「人間力」の本質はここにあります。

高崎健康福祉大学は、5学部8学科を擁する総合大学です。これから大学の門を叩く高校生の皆さんにはぜひ、これらの領域で新たな切り口を追求し、どんな時代においても社会の発展や人々に貢献できる「人間力」をここで身につけて下さい。そして、次世代の社会を支えていく人材へと成長することを願っています。

「Society5.0」とは

狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、新たな社会を指すもので、内閣府の「第5期科学技術基本計画」においてわが国が目指すべき未来社会の姿として提唱された。

～高崎健康福祉大学HPより～

1 法人の概要

1-1 建学の理念、教育方針、設立目的

建学の理念: 人類の健康と福祉に貢献する

教育方針: 人の喜びを己の喜びとする「自利利他」の精神の涵養

設立目的:

大学は教育基本法および学校教育法に従い、健康と福祉にかかわる諸問題を情報処理、福祉、栄養、薬学、看護、理学療法及び子ども教育の観点から総体的に捉え、快適な人間生活の方策を攻究すると共に、健康を基調とした人間中心型の福祉社会の創造に貢献できる指導的な人材の養成を目的とする。

高校は教育基本法並びに学校教育法により中学校の教育の上に心身の発達に応じて、高等普通教育を施行することを目的とする。

幼稚園は学校教育法に従って幼児を保育し、適当なる環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。

1-2 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況

*現員数は令和6年5月1日現在

学校名	学部・専攻・学科・課程	開設年度	入学定員 (人)	入学者数 (人)	編入学収容 定員(人)	編入学者数 (人)	収容定員 (人)	現員 (人)
高崎健康福祉大学 大学院	健康福祉学研究科(修士) 医療福祉情報学専攻	平成17年度	3	2	—	—	6	3
	保健福祉学専攻		3	1	—	—	6	2
	食品栄養学専攻		4	3	—	—	8	4
	健康福祉学研究科(博士) 保健福祉学専攻	平成19年度	3	0	—	—	9	4
	食品栄養学専攻		2	2	—	—	6	4
	薬学研究科(博士) 薬学専攻	平成24年度	3	1	—	—	12	6
	保健医療学研究科(修士) 看護学専攻	平成24年度	6	6	—	—	12	12
	理学療法学専攻		3	3	—	—	6	7
	農学研究科(修士) 生物生産学専攻	令和4年度	4	5	—	—	4	5
	農学研究科(博士) 生物生産学専攻	令和4年度	2	1	—	—	4	2
計			33	24	—	—	73	49
高崎健康福祉大学	健康福祉学部 医療情報学科	平成13年度	80	84	—	—	290	325
	社会福祉学科		75	80	—	—	255	320
	健康栄養学科		80	81	—	—	320	340
	薬学部 薬学科	平成18年度	90	102	—	—	540	568
	保健医療学部 看護学科	平成18年度	100	112	—	—	400	421
	理学療法学科		40	50	—	—	160	193
	人間発達学部 子ども教育学科	平成24年度	80	99	—	—	320	373
	農学部 生物生産学科	令和元年度	75	88	—	—	375	331
計			620	696	—	—	2,660	2,871
高崎健康福祉大学 高崎高等学校	普通科 全日課程	昭和43年度	460	456	—	—	1,380	1,307
高崎健康福祉大学 附属幼稚園	—	昭和49年度	120	74	—	—	360	237

1-3 学園の沿革

昭和11年	2月10日	須藤和洋裁女学院を創立
昭和24年	2月21日	須藤和洋裁女学院を設立認可
昭和29年	12月18日	財団法人須藤学園を設立認可 須藤高等技芸学校と改称
昭和35年	2月20日	進学校法人須藤学園を設立認可
昭和41年	1月27日	学校法人須藤学園を設立認可
〃	〃	群馬女子短期大学家政科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和42年	1月23日	群馬女子短期大学国文科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和43年	1月17日	群馬女子短期大学附属高等学校普通科「全日制課程」を設置認可、同年4月1日から開校
昭和44年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科・国文学科と改称
昭和45年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を家政専攻(40人)・食物栄養専攻(40人)に専攻分離
昭和46年	4月3日	学校法人群馬女子学園と改称
昭和49年	2月27日	群馬女子短期大学附属幼稚園を設置認可、同年4月1日から開園
昭和63年	12月22日	群馬女子短期大学経営情報学科を設置認可、平成元年4月1日から開学
平成2年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を生活学科に、家政専攻を生活教養専攻と改称
平成11年	12月22日	群馬女子短期大学国文学科を日本語コミュニケーション学科に、経営情報学科を情報文化学科に設置認可、平成12年4月1日から開学
平成12年	12月21日	高崎健康福祉大学健康福祉学部健康情報学科、保健福祉学科、健康栄養学科設置認可、平成13年4月1日から開学
平成13年	4月1日	学校法人高崎健康福祉大学、高崎健康福祉大学短期大学部、高崎健康福祉大学高崎高等学校、高崎健康福祉大学附属幼稚園と改称
平成13年	8月1日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科児童福祉専攻(80人)設置認可、平成14年4月1日から開学
平成13年	10月30日	高崎健康福祉大学短期大学部国文学科及び経営情報学科廃止認可
平成14年	12月19日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を設置認可、平成15年4月1日から開学
平成16年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部日本語コミュニケーション学科を廃止
平成16年	4月1日	高崎健康福祉大学健康情報学科を医療福祉情報学科に改称し入学定員を70名に、健康栄養学科の入学定員を80名に、高崎健康福祉大学短期大学部生活学科生活教養専攻並びに児童福祉専攻を改組し、生活学科と児童福祉学科を設置
平成16年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科設置認可、平成17年4月1日から開学
平成17年	12月5日	高崎健康福祉大学薬学部薬学科及び看護学部看護学科設置認可、平成18年4月1日から開学
平成18年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科(博士後期課程)設置認可、平成19年4月1日から開学
平成19年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科を廃止
平成19年	9月30日	高崎健康福祉大学短期大学部情報文化学科を廃止

平成21年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を廃止
平成21年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科を医療情報学科に保健福祉学科を社会福祉学科に改称
平成22年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科の入学定員を60名に、高崎健康福祉大学看護学部を保健医療学部に変更、高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科を開学
平成23年	10月24日	高崎健康福祉大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程、保健医療学研究科看護学専攻修士課程、高崎健康福祉大学人間発達学部子ども教育学科を設置認可、平成24年4月1日から開学
平成25年	7月4日	高崎健康福祉大学短期大学部児童福祉学科廃止認可
平成26年	3月27日	収益事業(医療・福祉)を開始することに対し認可、平成26年10月20日から高崎健康福祉大学附属クリニック開院
平成26年	4月1日	高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科看護学専攻に助産学分野を開設
平成27年	4月1日	高崎健康福祉大学訪問看護ステーション、女性・妊産婦ケアステーションを開設
平成27年	7月	高崎健康福祉大学看護実践開発センター開設
平成28年	6月1日	高崎健康福祉大学看護実践開発センター認定看護師教育課程(認知症看護)開講
平成30年	4月1日	高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科理学療法学専攻修士課程を開学
平成30年	8月31日	高崎健康福祉大学農学部生物生産学科を設置認可、平成31年4月1日開学
平成31年	4月	高崎健康福祉大学女性・妊産婦ケアステーションを廃止
令和3年	9月3日	高崎健康福祉大学大学院農学研究科生物学専攻博士前期課程、同専攻博士後期課程を設置認可、令和4年4月1日開学
令和3年	10月1日	高崎健康福祉大学看護実践開発センター特定行為研修課程開講
令和4年	4月1日	高崎健康福祉大学看護実践開発センター認定看護師教育課程(感染管理)開講

・評議員(任期4年) 定数 23~30人 常勤 15人
 非常勤 11人
 合計 26人

令和6年5月1日現在

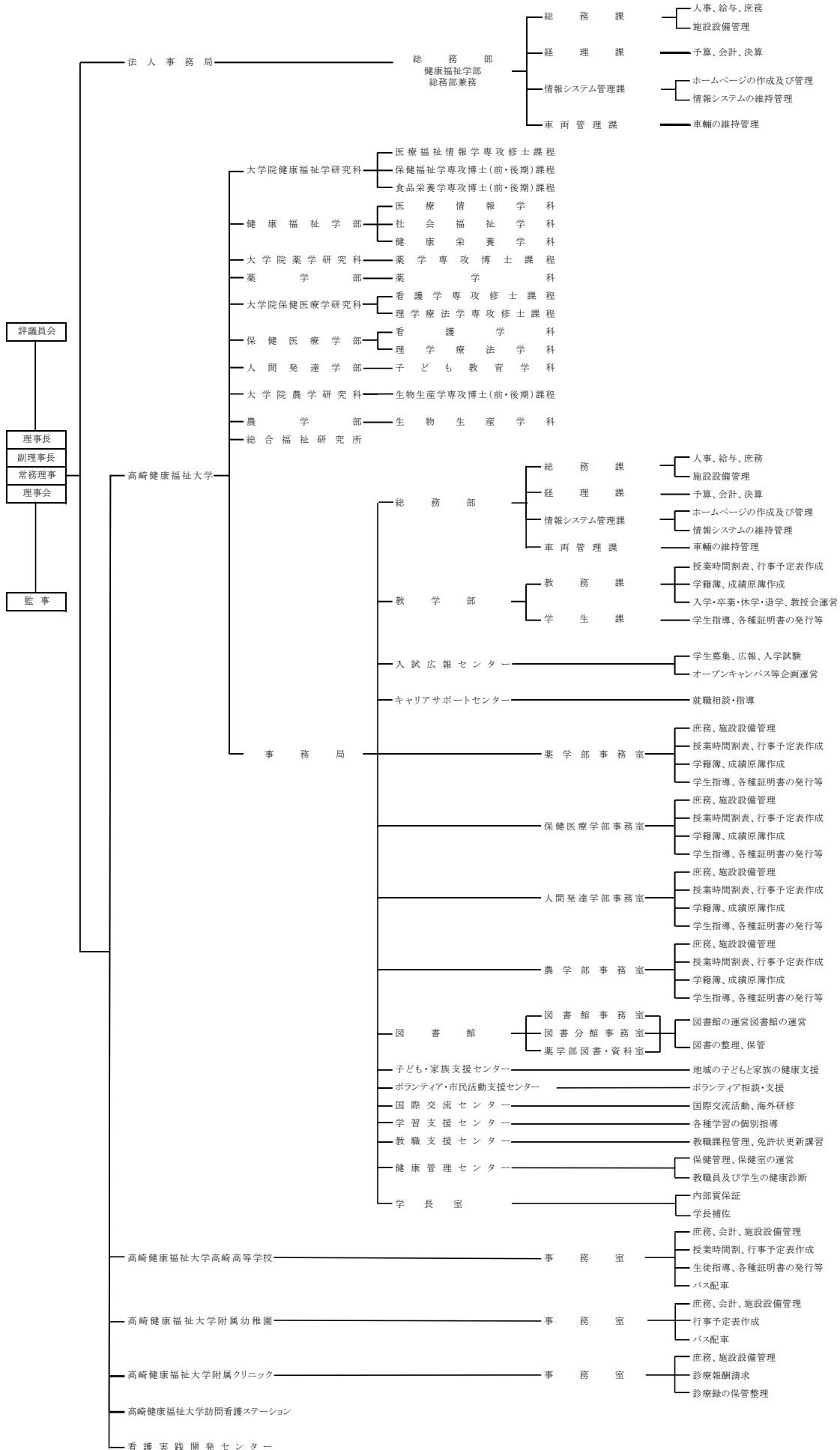
氏名	常勤・非常勤の別	選任区分等		就任年月日 (重任年月日)
		項又は号	選任区分	
須藤 賢一	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H2.2.6 (R4.4.1)
磯貝 昭夫	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H10.3.30 (R4.4.1)
須藤 領久	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	H18.4.1 (R4.4.1)
宮田 正枝	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	S52.12.12 (R4.4.1)
須藤 邦彦	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 (R4.4.1)
加藤 陽彦	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H21.5.28 (R4.4.1)
井出 紘和	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H26.4.1 (R4.4.1)
佐藤みつ江	非常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H2.4.1 (R4.4.1)
檜野加寿美	非常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H14.4.1 (R4.4.1)
松本 信利	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H10.4.1 (R4.4.1)
倉持 純晃	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 (R4.4.1)
宮澤 哲哉	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R2.5.22 (R4.4.1)
田島 忠之	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R6.5.24 (-)
反町希依子	非常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R6.5.24 (-)
東福寺幾夫	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R4.5.20 (R4.4.1)
寺田 勝英	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R2.5.22 (R4.4.1)
渡邊 秀臣	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R2.5.22 (R4.4.1)
栗原 幸正	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R5.5.19 (-)
大政 謙次	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R1.5.17 (R4.4.1)
内田 幸子	常勤	2	卒業生 (理事会選任)	H30.4.1 (R4.4.1)
町田 修三	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H18.4.1 (R4.4.1)
澁澤 直子	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	H27.5.22 (R4.4.1)
小針乃理子	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R3.5.21 (R4.4.1)
鈴木 仁史	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	H30.4.1 (R4.4.1)
大倉 英章	常勤	1	法人職員 (評議員会選任)	R2.5.22 (R4.4.1)
岡田 秀昭	常勤	3	学識経験者 (理事会選任)	R3.5.21 (R4.4.1)

・教職員

令和6年5月1日現在

学校	学部等	本務教員	非常勤教員	本務職員	兼務職員	合計
	法人	0	0	5	0	5
大学	健康福祉学部	68	51	65	43	227
	薬学部	36	1	6	3	46
	保健医療学部	63	20	11	19	113
	人間発達学部	30	9	7	8	54
	農学部	25	18	4	4	51
	小計	222	99	93	77	491
	高等学校	77	21	11	3	112
	幼稚園	21	11	1	4	37
	合計	320	131	110	84	645

1-5 学校法人組織機構図



2 事業の概要

2-1 入学試験の状況(令和7年4月入学対象)

学校	学部	学科	区分	総合	推薦	一般	特別	合計
大学	健康福祉	医療情報	志願者	11	43	121	0	175
			受験者	11	43	117	0	171
			合格者	11	43	85	0	139
			倍率	1.0	1.0	1.4	-	1.2
		入学者	11	43	19	0	73	
		社会福祉	志願者	13	57	138	0	208
			受験者	13	57	133	0	203
			合格者	11	57	82	0	150
			倍率	1.2	1.0	1.6	-	1.4
		入学者	9	57	21	0	87	
		健康栄養	志願者	45	62	141	1	249
			受験者	45	61	137	1	244
	合格者		13	49	62	1	125	
	倍率		3.5	1.2	2.2	1.0	2.0	
	入学者	10	49	19	0	78		
	薬	薬	志願者	64	55	259	0	378
			受験者	63	55	246	0	364
			合格者	27	44	161	0	232
			倍率	2.3	1.3	1.5	-	1.6
	入学者	15	44	37	0	96		
	保健医療	看護	志願者	81	65	291	1	438
			受験者	78	65	288	1	432
			合格者	34	50	156	0	240
			倍率	2.3	1.3	1.8	-	1.8
		入学者	21	50	56	0	127	
		理学療法	志願者	26	34	172	0	232
			受験者	26	33	168	0	227
			合格者	10	21	62	0	93
倍率	2.6		1.6	2.7	-	2.4		
入学者	8	21	20	0	49			
人間発達	子ども教育	志願者	15	47	110	0	172	
		受験者	14	47	109	0	170	
		合格者	14	47	90	0	151	
		倍率	1.0	1.0	1.2	-	1.1	
入学者	11	47	20	0	78			
農	生物生産	志願者	20	36	231	1	288	
		受験者	20	36	226	0	282	
		合格者	18	36	174	0	228	
		倍率	1.1	1.0	1.3	-	1.2	
入学者	16	36	37	0	89			
合計	合計	志願者	275	399	1,463	3	2,140	
		受験者	270	397	1,424	2	2,093	
		合格者	138	347	872	1	1,358	
		倍率	2.0	1.1	1.6	2.0	1.5	
入学者	101	347	229	0	677			
学校			区分	推薦	学特Ⅰ	学特Ⅱ	一般	合計
高等学校			志願者	368	960	969	5	2,302
			受験者	368	956	612	5	1,941
			合格者	360	857	565	3	1,785
			倍率	1.0	1.1	1.1	1.7	1.1
入学者	360	89				449		

2-2 卒業者数、修了者数(令和6年度)

学校	学部・研究科	学科・専攻	卒業者数
大学院	健康福祉学研究科	論文提出による博士(食品栄養学)	1
		医療福祉情報学専攻 修士課程	2
		保健福祉学専攻 博士前期課程	1
		食品栄養学専攻 博士前期課程	3
		食品栄養学専攻 博士後期課程	1
	薬学研究科	薬学専攻 博士課程	4
	保健医療学研究科	看護学専攻 修士課程	2
		看護学専攻 助産	4
		理学療法学専攻 修士課程	3
	農学研究科	生物生産学専攻 博士前期課程	5
大学	健康福祉学部	医療情報学科	74
		社会福祉学科	76
		健康栄養学科	83
	薬学部	薬学科	83
	保健医療学部	看護学科	106
		理学療法学科	48
	人間発達学部	子ども教育学科	85
農学部	生物生産学科	63	
高等学校			419
幼稚園			75

2-3 トピックス

○大学就職率

キャリアサポートセンターでは、各学科の就職活動スケジュールに合わせて、就職講座、SPI対策講座、公務員試験対策講座、キャリアカウンセラーによる履歴書の添削や模擬面接の実施、小論文対策など実践に即した指導を行っております。また、「求人情報検索システム」を活用して、学生は求人情報及び求人票をパソコンや携帯電話から検索・閲覧できるようになっています。さらにセンターに求人情報が入ると、随時学科別に情報を配信しています。

各学部の就職率は表1～5のとおり、健康福祉学部98.2.0%、保健医療学部100.0%、薬学部100.0%、人間発達学部100%、農学部100%となっています。

今後も、アドバイザーの教員や各学科のキャリアサポート委員との連携を密にして、学生の就職を支援して参ります。

表1 健康福祉学部就職内定率(9月卒業生除く)

健康福祉学部	医療情報学科	社会福祉学科	健康栄養学科	合計
卒業者	74名	76名	83名	233名
大学院等進学	1名	0名	2名	3名
就職希望者	67名	75名	79名	221名
就職者数	66名	74名	77名	217名
内定率	98.5%	98.7%	97.5%	98.2%

表2 保健医療学部就職内定率

保健医療学部	看護学科	理学療法学科	合計
卒業者	106名	48名	154名
大学院等進学	4名	0名	4名
就職希望者	102名	48名	150名
就職者数	102名	48名	150名
内定率	100.0%	100.0%	100.0%

表3 薬学部就職内定率(9月卒業生除く)

薬学部	薬学科	合計
卒業者	59名	59名
大学院等進学	0名	0名
就職希望者	55名	55名
就職者数	55名	55名
内定率	100.0%	100.0%

表4 人間発達学部就職内定率(9月卒業生除く)

人間発達学部	子ども教育学科	合計
卒業者	85名	85名
大学院等進学	0名	0名
就職希望者	84名	84名
就職者数	84名	84名
内定率	100.0%	100.0%

表5 農学部就職内定率

農学部	生物生産学科	合計
卒業者	63名	63名
大学院等進学	4名	4名
就職希望者	58名	58名
就職者数	58名	58名
内定率	100.0%	100.0%

○国試等の合格者数・合格率

令和6年度の国試等の受験者数、合格者数及び合格率は以下の通りです。

表6 国試等の合格者数・合格率

学科	試験	受験者数	合格者数	合格率
医療情報	診療情報管理士認定試験	13名	13名	100.0%
社会福祉	社会福祉士国家試験	69名	61名	88.4%
	精神保健福祉士国家試験	10名	10名	100.0%
	介護福祉士国家試験	19名	19名	100.0%
健康栄養	管理栄養士国家試験	80名	77名	96.3%
	NR・サプリメントアドバイザー認定試験	16名	13名	81.3%
薬	薬剤師国家試験	59名	55名	93.2%
看護	看護師国家試験	106名	106名	100.0%
	保健師国家試験	20名	20名	100.0%
理学療法	理学療法士国家試験	47名	47名	100.0%
大学院・看護学専攻	助産師国家試験	4名	4名	100.0%
子ども教育	教員採用試験 小学校教諭(公立)	23名	19名	82.6%
	教員採用試験 中学校教諭(公立)	2名	2名	100.0%
	教員採用試験 特別支援学校(公立)	7名	6名	85.7%
	公務員試験(保育職)	12名	11名	

○その他の事業

▽国際交流

・学術協定が交わされている海外の教育機関とは、双方間の研修が行われ(派遣69名、受入26名、Online8名)、参加学生は各国の文化・歴史・教育に触れると共に専攻分野に関わる知識を深めました。また、双方の学生交流を通じ、コミュニケーションスキルの向上と国際的視野を広げる貴重な機会を得ました。

- ◎ オーストラリア シドニー大学英語教育センター(全学科)
派遣:R6年8月24日～9月9日(11名)
- ◎ アイルランド ダブリン大学トリニティカレッジ(薬学科)
派遣:R6年9月10日～19日(3名)
- ◎ フィンランド ヤムク大学(全学科)
派遣:R6年9月6日～16日(3名) * 国際交流センタープログラム
派遣:R6年8月15日～12月22日(1名) R6年4月1日～6月28日(1名) * 医療情報学科ディプロマプログラム
- ◎ ドイツ フレゼニウス大学(理学療法学科)
派遣:R6年9月4日～13日(10名) 受入:R7年4月13日～21日(8名)
- ◎ ドイツ カイザーラウタン・ランダウ大学(子ども教育学科)
派遣:R6年9月12日～22日(3名)
- ◎ ベトナム ホーチミン医科薬科大学(全学科)
派遣:R7年3月5日～3月14日(19名) 受入:R6年10月20日～26日(11名)
- ◎ タイタマサート大学(看護学科)◎ インドネシア ウンジャヤ大学(看護学科)
受入:R6年10月20日～26日(各2名 計4名)
- ◎ 台湾 輔英科技大学(看護学科)
受入:R6年7月4日～8月2日(3名)
- ◎ オランダ ハンゼ大学(理学療法学科)
Online交流:R7年3月4、5、6、18、21日(8名)

また、医療情報学科より1名(フィンランド)、子ども教育学科より1名(マルタ)がぐんま赤尾奨学財団の大学生海外留学奨学金を得て留学を実現しました。

学内で恒例となったグローバルカフェ(外国人ゲストとのフリートーク)には前期に実施し、延べ61名が参加し、英語でのコミュニケーション能力アップや情報交換の場として学生に親しまれています。特別編として、中国出身の留学生在が講師となり、国の言葉、文化を学ぶ会では、延べ16名が参加し、留学生と本学学生の交流の他、国際理解を深める機会となりました。

さらに、オープンキャンパスでは、高校生や保護者の方々に高崎健康福祉大学の国際交流活動について知る機会を提供できました。

今後もより充実した国際交流活動を目指し、質の高い魅力的なプログラムを考えていきたいと思っております。

▽ボランティア関係

・ボランティア・市民活動支援センター(VSC)活動状況

○令和6年度に依頼のあった団体、活動先に依頼をした団体、学生自身が情報を得て申込をした団体などへの参加状況

延べ参加団体数 226件(前年度比7%減)

延べ参加学生数 1,315人(前年度比約26%増)

○VSC令和6年度登録学生数 352人 ボランティア活動保険手続き学生 538人

令和6年1月の能登半島地震災害の被災地域での学生ボランティア活動を行い、昨年度締結した「朝日新聞厚生文化事業団・災害時の支援活動の協力に関する協定書」に基づき、学生の旅費等を助成していただきました。また、以前から協定を結んでいた「日本財団ボランティアセンター」からは、災害復興支援ボランティア活動について、共催事業として認めていただき、学生の旅費について、負担していただきました。

○VSC学生スタッフ数 29人

*VSC学生スタッフとは、VSCに所属し、VSCを活動面でサポートしたり、自ら企画・実践をして活動を作り上げる活動をしている学生組織です。

(活動実績)

- ・大学行事でのVSCサポート(オープンキャンパス・ガイダンス用資料への参加協力など)
- ・高崎市NPO・ボランティアフェスティバルにおける展示およびレクゲーム等の実施
- ・自主企画ボランティア活動の実施とボランティア活動者を増やす取り組みの実施
- ・VSC研修・他大学との合同研修などへの参加

<学生プロジェクトの支援>

○赤い羽根共同募金活動(学内) 1週間お昼休み時間帯に実施

募金サポーター 延べ64人 募金額= 35,007円

*新たにPayPay払いによる募金を導入

○ベルマーク運動への協力(学生グループ「べるふぁみ」×あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)

回収結果(年間):ベルマーク2,534枚/インクカートリッジ41個 合計7,112.5点

○あなたの愛で誰かのeyeを救おうECOプロジェクト(コンタクトレンズ空ケースの回収) 4人 28.66キロ回収

*ベルマークおよびコンタクトレンズ空ケース回収は、高崎市NPO・ボランティアフェスティバル内でも実施

○登録制園芸ボランティアと学内「天空ガーデン」整備活動(学内8号館3階屋上ガーデン)年3回 延べ14人

- 専門性を活かした活動の創出
 - ・群馬県立小児医療センターの協力による活動
 - 「暑中見舞い絵はがきを贈ろう」(26人)
 - 「クリスマス手作りプレゼントの製作・送付」(46人、109個製作)
 - ・農業支援ボランティア
 - 「梨園援農ボランティア」
 - 年3回5日間活動 延べ38人(引率者含) 協力農園: 俣田梨園
 - 「白あずき収穫ボランティア体験事業」
 - 18人(引率者含) 協力農園: 虎屋(株)群馬農場・契約農家の畑
 - 「伝統野菜(国分になじん)援農ボランティア」
 - 5人(引率者含) 協力農園: 国府野菜本舗

- 災害復興支援団体「わたりば」
 - 令和6年能登半島地震支援金募金の実施
 - ・高崎駅西口・東口 2日間 参加者14人(延人数)
 - ・学内 5日間 参加者30人(延人数) 募金額= 99,694円
 - 能登半島地震 災害復興支援ボランティア(現地支援活動)
 - ・5月) 輪島市門前地区 3泊4日 7人(引率者含)
 - ・9月) 輪島市 3泊4日 8人(引率者含)

▽健康福祉学部

- ・医療情報学科の田中健太さんが、群馬県警学生サイバーパトロールコラボレーターとしての活動の一環で「フィッシングサイト撲滅チャレンジカップ」に出場し、個人テイクダウン部門で第3位に入賞、群馬県警から感謝状を受けました。田中さんは支援ツール「Predator」を使い、偽サイトの閉鎖数を競う部門で成果を上げました。また、令和6年6月4日にはFM GUNMAの番組「ユニラジ」に出演し、活動内容を紹介しました。
- ・令和7年1月17～19日に国立京都国際会館で開催された「第28回日本病態栄養学会年次学術集会」において、食品栄養学専攻 博士前期課程2年の渡辺悠介さんが、YIA(若手研究独創賞)を受賞しました。この賞は、50歳以下の発表者の中から特に優れた演題に授与されるものです。渡辺さんの研究チームは、下垂体から分泌されるオキシトシンに注目し、増加傾向にある育児放棄(ネグレクト)の分子的基盤の解明に取り組んでいます。
- ・健康栄養学科の学生を中心とした総勢97名が「下仁田ねぎ祭り2024」に参加し、約9,600人の来場者と共に地域を盛り上げました。学生たちは「野菜の摂取量を増やす」を目標に、下仁田ねぎを使ったミールキットや鍋つゆの開発・販売、チラシ配布などのPR活動、ステージイベントを実施。会場では農家による農産物の販売・配布も行われ、来場者は匂いの味を満喫しました。この活動は群馬県の「やま・さと応援隊」事業にも採択され、学生にとって地域と連携した貴重な学びの機会となりました。

▽薬学部

- ・令和6年9月に米国スタンフォード大学とエルゼビア社による「世界のトップ2%の科学者」を特定する包括的なリスト「標準化された引用指標に基づく科学者データベース」が更新・発表され、薬学科中西猛夫教授(分子動態制御学)が「単年」(single recent year)および「生涯」(career-long)の両区分で選出されました。この科学者リストは、22の研究分野と174のサブ分野で少なくとも5編の論文を発表している科学者を対象にしています。本リストは、世界最大級の抄録・引用文献データベースであるScopusに基づき、総被引用回数(自己引用を除く)、h-index、単著論文数、個別引用論文数など、様々な指標を総合的に評価し、各サブ分野で被引用数の上位2%に該当する研究者を選出するものであり、「世界で最も影響力のある科学者リスト」と言われています。
- ・ジンバブエからの国費留学生メロディ・N・シュンバさんが4年間の薬学専攻博士課程を修了しました。シュンバさんは薬学科中西猛夫教授とともに、呼吸器に強く発現するプロスタグランジン膜輸送体に対するタバコ煙の影響を遺伝子レベルで解析し、その成果を令和6年11月にProstaglandins Other Lipid Mediatに発表しました。本成果はタバコの肺毒性に重要な知見であると認められ、薬学博士が授与されました。

▽保健医療学部

・令和6年7月31日(水)に保健医療学部新校舎が竣工になり、令和6年9月23日(月)の後期授業開始とともに新校舎の利用が開始されました。新4号館は4階建ての理学療法学科棟、新5号館は5階建ての看護学科棟となり、他学部校舎に隣接することで学生の利便性が向上することが期待されます。

- ・令和6年7月4日から8月2日の期間において海外学術協定先である台湾輔英科技大学看護学科学生3名の研修を受け入れました。1か月間の研修期間中に大学で日本の医療保険制度や介護保険制度、高齢者への身体拘束による影響、多職種連携、災害看護等の講義を聴講し、看護技術の演習を行い、また、病院や介護施設、地域で暮らす高齢者を支える施設・活動の見学や交流をしました。
- ・令和6年9月10日(火)に看護学科公衆衛生看護学領域の教員が地域貢献事業の一環で高崎市ふれあい・いきいきサロンにおいて「誤嚥予防」をテーマに健康講座を行いました。講座では、「誤嚥について」および「誤嚥予防のポイント」を説明し、その後、口腔体操や早口言葉などを参加者と一緒に実施しました。
- ・令和6年10月12日(土)にがん患者支援チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ぐんま」に看護学科学生と成人看護学の教員が「高崎健康福祉大学チーム」として参加しました。アクティビティとして「がん〇×クイズ」を実施し、がんの検診や治療などへの関心を高めてもらえることができました。
- ・令和6年10月13日(日)に高崎市国際交流協会主催の第32回国際交流の集いが開催され、看護学科、理学療法学科の教員が『自己血糖測定』と『インボディ(体の筋肉量と脂肪量)測定』の2つのブースを設けて看護学生と共に健康チェックを実施し、運営協力を行いました。
- ・令和6年10月19日(土)に大学祭に合わせて看護学科のホームカミングデーを開催しました。新校舎のお披露目を兼ね、看護師資格をもつ鍼灸師の先生をお迎えして、日頃の疲れを癒しリフレッシュにつながるよう、『マイツボ刺激でリラックス効果を体験しよう〜』を行いました。
- ・令和6年10月20から10月26日の期間において海外学術協定先であるベトナムのホーチミン医科薬科大学、タイのタマサート大学、インドネシアのウンジャヤ大学から計7名の看護/助産学生を招へいし、研修を行いました。海外研修生は今回の研修を通じて、日本の母子保健サービスの現状、新生児搬送体制や妊娠中や産後の地域での異常の早期発見や育児援助につながる看護/助産について学習することができました。
- ・令和6年11月29日(金)に看護学科の小池洋子教授が台湾輔英科技大学が主催する2024 International Health care Conference in Fooyin University Taiwan. テーマInnovative Healthcare, Working Together for Change: Insights, Challenges, and Evidences に招へいされ、基調講演を行いました。学会後に輔英科技大学との共同研究についても話し合われました。
- ・令和7年3月2日(日)に開催された「健大こども大学」で、看護学科は「ナースのお仕事体験」、理学療法学科は「スクールトレーナー」のプログラムを実施しました。参加されたお子さんたちは目を輝かせながらそれぞれの仕事に触れることができました。

- ・理学療法学科の樋口・篠原研究室では、健康栄養学科の竹内・佐藤研究室、薬学科の高橋研究室と研究チームを結成し、地域住民の方々にこれからも健康で過ごしていただくために身体、栄養、薬の観点から健康状態を確認しています。各学科学生も参加し、多職種連携の機会にもなっています。
- ・令和6年5月26日(日)に「令和6年度 全国パーキンソン病友の会 群馬県支部 通常総会・医療講演会」で大野研究室の学生が会場設営や会場内での参加者の誘導、介助などボランティアとして運営に協力しました。
- ・令和6年6月1日(土)に理学療法学科のスポーツ大会が行われました。1年生から4年生まであわせて170名超の学生が参加し、学年対抗競技と学年混合競技を行い、学年の垣根を超えた関係を構築することができました。
- ・令和6年9月28日(土)、29日(日)に開催された日本神経理学療法学会学術大会(福岡国際会議場)にて理学療法学科の篠原教授、樋口教授、富田准教授が口述演題発表を行い、正木教授が座長を務めました。特に樋口教授は、表彰対象演題としてセッション口述発表を行いました。
- ・令和6年10月5日(土)、6日(日)に開催された関東甲信越ブロック理学療法士学会(幕張メッセ)にて理学療法学科の解良教授と樋口教授が学会の優秀賞を受賞しました。3題の受賞演題のうち2題を本学教員が受賞しました。また、篠原ゼミ、樋口ゼミ、高橋ゼミの学生も参加し、講演や演題発表を聴講しました。

▽人間発達学部

- ・令和6年7月12日(金)10:45~12:15に子ども教育学科の保育・教育コース2年生と附属幼稚園の4・5歳児の交流会がイベントホールで開催されました。学生たちが授業で取り組んだシアター製作のうち、ペープサート劇「ききみみずきん」と劇「クレヨンのかくれん」を園児たちが鑑賞しました。4歳児さんと5歳児さんの反応の違いも知ることで、貴重な学びの機会となりました。
- ・令和6年7月4日(木)に保育・教育コースの2年生が子どもの食と栄養 I の授業の一環として、農学部 生物生産学科作物園芸システムコースの学生と一緒に健大附属幼稚園の年長児と田植え体験を実施しました。当日は、梅雨時期にもかかわらず、お天気に恵まれ青空のもと、農学部の田んぼで、子どもたちと一緒に楽しく食育活動をおこないました。将来の保育者として援助の仕方や留意すべきことなど、実際の体験を通して学ぶことができました。
- ・令和6年7月11日(木)に保育・教育コースの2年生が、健大附属幼稚園の年中・年長児クラスにて、食育活動をおこないました。グループごとに、食育の目標「食育の5項目」に基づき食育教材(紙芝居)を作成し、その教材を用いて実際に食育活動をおこなうことで、食の経験の積み重ねが、子どもにとってどのように大切なのかについて考え、食育活動についての学びを深めることができました。
- ・令和6年9月12日(木)から22日(日)の日程で、子ども教育学科4年生(1名)と3年生(1名)と2年生(1名)の合計3名がドイツのランダウ大学(University of Kaiserslautern Landau)を訪問しました。昨年に引き続き、2回目の実施となるこの研修では、大学に併設されたKita(キタ/保育施設)とGrundschule(グルントシューレ/基礎小学校)や、Gymnasium(ギムナジウム/中等教育機関)を見学するとともに、ランダウ大学の学生とのタンデムプログラムの受講やディスカッションを通して、異文化コミュニケーションを深めてきました。

・令和6年10月19日(土)、20日(日)に開催された藤籠祭で、子ども教育学科では「あそびのひろば」を実施しました。保育・教育コースの1年生は自分たちで製作したボーリングやボール入れ、もぐらたたきなどの遊具で、2年生はハロウィングッズの製作、シアター動画発表で、来場した子どもたちに楽しんでもらいました。

また、片山ゼミが中心に毎年行っている「おもしろ理科実験室」でも、スライム作り、果物電池実験などが大人気でした。

・令和7年3月2日(日)に開催された「健大こども大学」で、子ども教育学科は保育士体験「保育士の仕事を体験しよう!」を行いました。小学生は、お父さん・お母さんのアドバイスを受けながら、赤ちゃんと一緒に触れ合い遊びを楽しみました。こどもたちはみんな、赤ちゃんに触れあい遊ぶことができたことに楽しさと学びを得て、笑顔で修了証書を受け取ることができました。

▽農学部

・大政謙次学部長が令和6年度春の叙勲(4月29日)にて瑞宝中綬章(教育研究功労)を受章しました。

・令和6年6月15日(土)に農学部保護者会を開催し、116名の保護者に参加いただきました。スマート農場のキャンパス見学を新たに組み込み、概ね好評でした。

・農学部セミナーを下記のように6回実施しました。

①大規模の農場の経営者の体験談(藤原農場社長【ブラジル】:藤原利貞氏)

②食品会社の資材調達的重要性(株式会社虎屋 生産支援部資材課:原博子氏)

③農産物・食品の輸出について(農林水産省関東農政局:神田地方参事官)

④温暖化に伴い深刻化するカンキツグリーンング病とその対処について(東京農大:岩波徹教授)

⑤生成AIを活用した農薬づくり(前橋工科大:蒔田由布子教授)

⑥あなたの知らない野生鳥獣の世界(群馬県環境森林部自然環境課:小野関智洋氏、群馬県鳥獣被害対策支援センター:小林拓哉氏)

・3年目を迎えた高校生自由研究コンテストを「食と農に関するテーマ」で実施し、全国から51件の応募があり、オンライン形式で表彰式を実施しました。

・高校生論文コンテストを「SDGsで協調する社会ー私たちの提案・実践ー」で実施し、全国から345件の応募があり、オンライン形式で表彰式を実施しました。

・大学通信の調査(UNIV PRESS NEWS 2024年9月10日号)で、全国の国公立私立大学を含めて、第2期卒業生の就職実績が、第1期卒業生に続いて、2年連続全国第1位になりました。

・シンガポールにて「海外日本食事情演習(令和6年9月1日~5日)」を実施し、2年生~4年生13名が参加しました。10月には成果報告会を開催し、国際交流センター職員も参加して活発な質疑応答が行われました。

・令和6年12月12日(木)に高崎市役所において「高崎市と高崎健康福祉大学との農林業振興の連携に関する協定」を締結しました。

・日本農業技術検定協会主催の令和6年第2回日本農業技術検定学科試験を令和6年12月7日(土)に本学農学部を団体受験会場として実施し、2級5名、3級3名が合格しました。

・令和7年3月2日(日)開催の「健大こども大学」で、農学部では、「目指せ未来の研究者」を実施し、小学生12名、保護者12名の参加がありました。

・農学インターンシップでは、農業法人や食品メーカー、公的機関やJA、海外法人など企業や団体が、「企業説明会」やインターンシップ後の「実習報告会」を行いました。

▽スケート部

・令和6年度も多く選手を世界へ輩出しました。ワールドカップ4戦アメリカミルウォーキー大会では、男子500mで新濱立也(本学職員)が優勝しました。得意種目である500mでは、第1戦から表彰台に上る活躍となりました。また、ジュニアワールドカップ前半戦には、熊谷宗一郎(生物生産学科1年)が出場し、男子500mで7位入賞を果たしました。ジュニアワールドカップ後半戦と世界ジュニア選手権大会には、奥秋智佳(医療情報学科1年)と重堂沙姫(看護学科1年)が出場し、世界ジュニア選手権大会では、女子チームパシュートで3位になり、日本チームの活躍に貢献しました。来年度からはシニアになりますが、またこの舞台に来ることを目標に、シニアでも活躍できるように頑張ります。

・第97回全日本学生氷上競技選手権大会では、初日から追いかける展開となり2日目を迎えました。男子5000mでは、市場椋也(生物生産学科1年)が粘り強い滑りをみせ3位に入り、チームに勢いをもたらしました。また、女子1000mでは、阿良美希(医療情報学科3年)が2位と大きく差をつけてゴールし優勝し、チームに良い流れが来たまま最終日を迎えました。チームの総合力や長距離・短距離の力をみせつけることができる団体種目の中で、2000mリレーでは男女ともにリンクレコードで優勝することができました。4人のスプリント力と団結力を確認することができました。また、女子チームパシュートも2位に入り、実力だけでは届くことのできない順位を3人の団結力で届くことができました。惜しくも男女総合アベック優勝は叶いませんでしたが、来年はまた全員で表彰台の頂点に上ることを目標に、トレーニングに励んでいきたいと思えます。

来年度はいよいよオリンピックシーズンとなります。一人でも多くの選手がこの高崎健大から世界へ羽ばたくことを願い、高い目標をもって互いに励ましあいながら努力してまいります。

▽高等学校

令和6年度第59回群馬県高校総体において、本校は、2位以下に30点以上の差(総合得点、健大高崎93点、高女57点)をつけ、3年連続28回目の女子総合優勝を果たしました。男子は、23位でした。団体では、ソフトボール・ソフトテニス女子・体操競技・剣道・水泳(飛込)が優勝しました。関東大会では、ソフトボール部が優勝、女子サッカー部が準優勝、男子サッカー部の新井夢功君は、U16の日本代表メンバーとしてパラグアイ遠征に参加しました。バレーボール部は、2年連続で春高に出場しました。水泳飛込の長岡凜さん(1年)は、全国JOCジュニアオリンピックカップで(女子3m飛込 16-18歳)で3位入賞。この他にも、全国大会には、剣道部、男女のソフトテニス部、新体操部、柔道部、チアリーディング部、体操競技部、陸上競技部、空手道部が出場しました。また、男子弓道部が、東日本大会に出場しました。文化部では、吹奏楽部が県の総文祭で最優秀賞を獲得しました。

硬式野球部は、夏の県大会で、9年ぶりに優勝し4回目の甲子園出場を果たしました。夏のプレッシャーや戦い方の難しさを課題とし、何度も何度も大事な試合で跳ね返されてきましたが、9年間閉ざされていた扉を開きました。春夏連覇に挑んだ、初戦は英明(香川)に1-0で勝利しましたが次戦の智弁学園(奈良)に惜しくも1-2で敗れ、偉業達成はなりません。秋季の県予選は、決勝戦で農大二高との対戦となり5-1で勝利し、3年連続8回目の優勝となりました。選抜の重要な参考資料となる秋季関東地区大会に出場した本校は、霞ヶ浦(茨城)、佐野日大(栃木)、千葉黎明(千葉)を退けて横浜との決勝に臨みました。タイブレークにもつれ込むシーソーゲームの末、惜しくも準優勝となりました。この結果を踏まえ、1月24日に選考委員会があり、本校野球部が第97回選抜高校野球大会に関東地区の一般代表校として推薦されました(3年連続8回目)。選抜大会では、明徳義塾(高知)3-1、敦賀気比(福井)4-3、花巻東(岩手)9-1で勝利し、ベスト4進出、準決勝では横浜と対戦し、秋季大会の雪辱を期待しましたが、1-5で敗れ、春二連覇の夢は叶いませんでしたが、2年連続のベスト4という立派な成績を収めました。他にも春の選抜大会には、空手道部3人制女子団体組手で吉田怜生さん(1年)、齋田ころもさん(1年)と体操競技部で田邊苺音さん(1年)が出場しました。

本校の教育目標は、「次代を担う社会の形成者の一人として、知識や技能と広く国際人としての教養を高め、主体的に学び、常に想像力を働かせて自他共にWell-beingに向かう人材を育成する」ことです。生徒も大人も一人一人が自立して学び続ける学習者となるのが大切です。本校では、探究学習を教育の一つの柱として力を入れております。これまで以上に学習者が自他を尊重し、当事者意識をもって問題の解決に向けて粘り強く取り組める「問題解決」型の学びを充実させていきたいと考えております。生徒たちは、校訓である「感謝・奉仕・友愛」を大きな理想とし一生懸命に努力しております。気持ちの良い挨拶や笑顔あふれる学校、真摯に学ぶ生徒や情熱ある教職員、素晴らしい環境の中で、「文武両道」を実践し、学習と部活動のバランスの取れた学校生活を楽しみながら送っています。これからも明るい学校づくりに全力で取り組みます。

▽幼稚園

・幼稚園では、大学の生物生産学科や子ども教育学科、健康栄養学科と連携したお米作りや食育、高校の科学部と連携した科学あそびなどに取り組んで、保育内容の充実を図ると共に、多様な関わりを通して子どもの人格形成の土台作りを行っています。

・非認知能力の育成を保育の中心に置き、園児が友達と広い園庭で伸び伸びと遊んだり、多様な経験をしたりする子ども主体の保育を展開することにより、子どもの主体性や自己肯定感、思考力、人と関わる力、思いやり、自制心等が高まるようにしています。

・令和9年度の幼保連携型認定こども園への移行に向けての準備や手続きを進めるとともに、建学の精神を守りつつ健大附属幼稚園ならではの特色を生かした幼児教育をさらに充実させ実践していきます。

2-4 施設設備

○保健医療学部新校舎完成

保健医療学部において、新校舎が完成し、令和6年度後期より学生の利用が始まりました。この新校舎は、看護学科および理学療法学科の教育・実習環境をさらに充実させることを目的として建設されました。新校舎は、保健医療学部の専門教育に対応した最新の設備を備えています。これにより、学生はより実践的な学びを深めることが可能となりました。また、図書館の分館も新校舎内に移転し、学習環境の向上が図られています。

○新アリーナ(第2体育館)完成

令和6年度後期に保健医療学部の新校舎とともに、新たなアリーナ(第二体育館)が完成しました。この施設は、学生の健康増進や多職種連携教育の推進を目的として設計され、教育・研究・地域交流の拠点として期待されています。新たに完成した第二体育館は、バドミントンコート8面、バレーボールコート2面での利用が可能な設備を有しており、体育の授業や部活動、地域イベントなど、さまざまな活動に対応できる環境が整っています。

○飛び込み用陸上練習施設(ドライランド)完成

令和6年度後期に飛び込み競技のための陸上練習施設(ドライランド)を新設しました。この施設は、トランポリンや飛び板を用いた技術練習が可能で、私立大学によるこのような専用施設の設置は全国初とされています。群馬県の競技力向上を目指し、県指定強化選手にも開放されています。

3-1 計算書類等

資金収支計算書

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

(単位 : 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,811,300,000	4,802,832,600	8,467,400
手数料収入	82,100,000	81,457,160	642,840
寄付金収入	149,300,000	154,920,278	△ 5,620,278
補助金収入	1,221,100,000	1,264,785,111	△ 43,685,111
国庫補助金収入	655,000,000	675,471,700	△ 20,471,700
県補助金収入	554,100,000	577,338,600	△ 23,238,600
市町村補助金収入	12,000,000	11,974,811	25,189
資産売却収入	100,200,000	156,672,831	△ 56,472,831
付随事業・収益事業収入	217,000,000	228,058,335	△ 11,058,335
受取利息・配当金収入	27,600,000	37,298,617	△ 9,698,617
雑収入	156,300,000	194,654,842	△ 38,354,842
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	643,300,000	697,947,280	△ 54,647,280
その他の収入	900,000,000	876,279,663	23,720,337
資金収入調整勘定	△ 750,000,000	△ 781,478,323	31,478,323
前年度繰越支払資金	2,483,000,000	2,483,000,653	
収入の部 合計	10,041,200,000	10,196,429,047	△ 155,229,047
支出の部			
人件費支出	3,674,250,000	3,687,885,338	△ 13,635,338
教育研究経費支出	2,147,850,000	2,135,995,592	11,854,408
管理経費支出	538,750,000	538,877,781	△ 127,781
借入金等利息支出	4,700,000	4,713,093	△ 13,093
借入金等返済支出	200,000,000	200,000,000	0
施設関係支出	1,312,350,000	1,316,438,816	△ 4,088,816
設備関係支出	412,050,000	422,699,258	△ 10,649,258
資産運用支出	357,650,000	386,798,637	△ 29,148,637
その他の支出	133,900,000	143,143,404	△ 9,243,404
(予備費)	(0) 20,000,000		20,000,000
資金支出調整勘定	△ 51,800,000	△ 102,598,941	50,798,941
次年度繰越支払資金	1,291,500,000	1,462,476,069	△ 170,976,069
支出の部 合計	10,041,200,000	10,196,429,047	△ 155,229,047

資金収支内訳表

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
学生生徒等納付金収入	0	4,125,374,700	575,828,900	101,629,000
手数料収入	60,600	52,354,920	28,889,640	152,000
寄付金収入	0	59,615,000	95,305,278	0
補助金収入	0	689,258,911	527,564,600	47,961,600
国庫補助金収入	0	675,471,700	0	0
県補助金収入	0	13,190,000	521,564,600	42,584,000
市町村補助金収入	0	597,211	6,000,000	5,377,600
資産売却収入	156,672,831	0	0	0
付随事業・収益事業収入	20,836,800	87,428,361	115,009,454	4,783,720
受取利息・配当金収入	37,298,617	0	0	0
雑収入	832,433	114,758,131	75,257,769	3,806,509
借入金等収入	0	0	0	0
計	215,701,281	5,128,790,023	1,417,855,641	158,332,829

支出の部

(単位：円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康 福祉大学	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
人件費支出	43,017,406	2,851,612,026	680,613,030	112,642,876
教育研究経費支出	0	1,547,023,637	537,984,248	50,987,707
管理経費支出	45,378,566	308,591,949	179,058,327	5,848,939
借入金等利息支出	0	3,714,793	998,300	0
借入金等返済支出	0	140,000,000	60,000,000	0
施設関係支出	12,472,100	1,297,459,116	6,507,600	0
設備関係支出	2,497,000	400,143,203	18,188,285	1,870,770
計	103,365,072	6,548,544,724	1,483,349,790	171,350,292

人 件 費 支 出 内 訳 表

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高等学校	附属幼稚園
教員人件費支出	0	2,145,525,712	589,321,720	101,156,051
本務教員	0	2,101,369,575	551,003,166	88,352,593
本俸	0	1,152,220,072	295,352,190	49,085,986
期末手当	0	447,201,600	114,641,300	17,933,800
その他の手当	0	175,515,256	52,004,180	6,771,122
所定福利費	0	326,432,647	89,005,496	14,561,685
兼務教員	0	44,156,137	38,318,554	12,803,458
職員人件費支出	41,304,634	655,083,895	62,558,774	9,724,103
本務職員	40,293,259	545,616,171	57,067,195	7,382,124
本俸	22,063,200	300,407,783	32,471,622	3,682,800
期末手当	9,773,600	101,711,100	9,916,500	1,646,900
その他の手当	6,169,842	49,838,528	4,856,916	802,968
所定福利費	2,286,617	93,658,760	9,822,157	1,249,456
兼務職員	1,011,375	109,467,724	5,491,579	2,341,979
役員報酬支出	1,080,000	0	0	0
退職金支出	632,772	51,002,419	28,732,536	1,762,722
教員	0	49,730,181	28,732,536	1,762,722
職員	632,772	1,272,238	0	0
合計	43,017,406	2,851,612,026	680,613,030	112,642,876

活動区分資金収支計算書

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

(単位 : 円)

		科目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒納付金収入	4,802,832,600
		手数料収入	81,457,160
		特別寄付金収入	130,920,278
		一般寄付金収入	0
		経常費等補助金収入	1,251,595,111
		付随事業収入	228,058,335
		雑収入	194,654,842
		教育活動資金収入計	6,689,518,326
		支出	人件費支出
	教育研究経費支出		2,135,995,592
	管理経費支出		538,877,781
	教育活動資金支出計		6,362,758,711
		差引	326,759,615
		調整勘定等	27,677,608
	教育活動資金収支差額	354,437,223	
施設設備活動による資金収支	収入	施設整備補助金収入	24,000,000
		施設整備売却収入	13,190,000
		施設整備等活動資金収入計	37,190,000
	支出	施設関係支出	1,316,438,816
		設備関係支出	422,699,258
		施設整備等活動資金支出計	1,739,138,074
		差引	△ 1,701,948,074
	調整勘定等	10,704,000	
	施設整備等活動資金収支差額	△ 1,691,244,074	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			△ 1,336,806,851
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	0
		有価証券売却収入	156,672,831
		減価償却引当特定資産取崩収入	700,000,000
		仮受金受入収入	0
		預り金受入収入	48,702,754
		保険積立金回収収入	10,167,908
		立替金回収収入	20,946,861
		仮払金回収収入	9,878,472
		小計	946,368,826
		受取利息・配当金収入	37,298,617
		その他の活動資金収入計	983,667,443
	支出	借入金等返済支出	200,000,000
		有価証券購入支出	311,090,686
		保険積立金支払支出	75,707,951
		預り金支払支出	59,897,526
		立替金支払支出	17,049,164
		仮払金支払支出	1,828,036
		仮受金支払支出	0
		小計	665,573,363
		借入金等利息支出	4,713,093
		その他の活動資金支出計	670,286,456
	差引	313,380,987	
	調整勘定等	2,901,280	
	その他の活動資金収支差額	316,282,267	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)			△ 1,020,524,584
前年度繰越支払資金			2,483,000,653
翌年度繰越支払資金			1,462,476,069

事業活動収支計算書

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

(単位 : 円)

		科目	予算	決算	差異
教育活動収支	教育活動収入の部	学生生徒納付金	4,811,300,000	4,802,832,600	8,467,400
		手数料	82,100,000	81,457,160	642,840
		寄付金	118,300,000	130,920,278	△ 12,620,278
		経常費等補助金	1,211,100,000	1,251,595,111	△ 40,495,111
		付随事業収入	217,000,000	228,058,335	△ 11,058,335
		雑収入	156,300,000	194,654,842	△ 38,354,842
		教育活動収入計	6,596,100,000	6,689,518,326	△ 93,418,326
			科目	予算	決算
	支教育の活動	人件費	3,674,250,000	3,687,885,338	△ 13,635,338
		教育研究経費	2,682,250,000	2,664,839,419	17,410,581
		管理経費	587,250,000	586,886,930	363,070
		徴収不能額等	0	0	0
		徴収不能額	0	1,570,000	△ 1,570,000
		教育活動支出計	6,943,750,000	6,941,181,687	2,568,313
教育活動収支差額		△ 347,650,000	△ 251,663,361	△ 95,986,639	
教育活動外収支	収事業の活動	科目	予算	決算	差異
		受取利息配当金	27,600,000	37,298,617	△ 9,698,617
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	27,600,000	37,298,617	△ 9,698,617
	支事業の活動	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	4,700,000	4,713,093	△ 13,093
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	4,700,000	4,713,093	△ 13,093
	教育活動外収支差額		22,900,000	32,585,524	△ 9,685,524
	経常収支差額		△ 324,750,000	△ 219,077,837	△ 105,672,163
特別収支	収事業の活動	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	450,000	567,289	△ 117,289
		その他の特別収入	49,600,000	51,383,017	△ 1,783,017
	特別収入計		50,050,000	51,950,306	△ 1,900,306
	支事業の活動	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	69,700,000	69,689,687	10,313
		その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計		69,700,000	69,689,687	10,313
特別収支差額		△ 19,650,000	△ 17,739,381	△ 1,910,619	
予備費		(0) 20,000,000		20,000,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 364,400,000	△ 236,817,218	△ 127,582,782	
基本金組入額合計		△ 1,360,650,000	△ 1,378,911,225	18,261,225	
当年度収支差額		△ 1,725,050,000	△ 1,615,728,443	△ 109,321,557	
前年度繰越収支差額		△ 7,039,100,000	△ 7,039,024,444	△ 75,556	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 8,764,150,000	△ 8,654,752,887	△ 109,397,113	
(参考)					
事業活動収入計		6,673,750,000	6,778,767,249	△ 105,017,249	
事業活動収出計		7,038,150,000	7,015,584,467	22,565,533	

事業活動収支内訳表

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目		部門	学校法人	高崎健康福祉大学	健大高崎高校	附属幼稚園
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒納付金	0	4,125,374,700	575,828,900	101,629,000
		手数料	60,600	52,354,920	28,889,640	152,000
		寄付金	0	35,615,000	95,305,278	0
		経常費等補助金	0	676,068,911	527,564,600	47,961,600
		付随事業収入	20,836,800	87,428,361	115,009,454	4,783,720
		雑収入	832,433	114,758,131	75,257,769	3,806,509
		教育活動収入計	21,729,833	5,091,600,023	1,417,855,641	158,332,829
	事業活動支出の部	人件費	43,017,406	2,851,612,026	680,613,030	112,642,876
		教育研究経費	0	1,944,002,281	658,152,756	62,684,382
		管理経費	49,023,659	338,288,818	192,576,849	6,997,604
		徴収不能額等	0	1,570,000	0	0
		教育活動支出計	92,041,065	5,135,473,125	1,531,342,635	182,324,862
	教育活動収支差額		△ 70,311,232	△ 43,873,102	△ 113,486,994	△ 23,992,033
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息配当金	37,298,617	0	0	0
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0
		教育活動外収入計	37,298,617	0	0	0
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	3,714,793	998,300	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	3,714,793	998,300	0
		教育活動外収支差額	37,298,617	△ 3,714,793	△ 998,300	0
経常収支差額		△ 33,012,615	△ 47,587,895	△ 114,485,294	△ 23,992,033	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	567,289	0	0	0
		その他の特別収入	0	51,280,520	102,497	0
		特別収入計	567,289	51,280,520	102,497	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	4,100,133	36,127,577	28,299,694	1,162,283
		その他の特別支出	0	0	0	0
		特別支出計	4,100,133	36,127,577	28,299,694	1,162,283
特別収支差額		△ 3,532,844	15,152,943	△ 28,197,197	△ 1,162,283	
基本金組入前当年度収支差額		△ 36,545,459	△ 32,434,952	△ 142,682,491	△ 25,154,316	
基本金組入額合計		△ 14,722,770	△ 1,522,650,702	148,710,169	9,752,078	
当年度収支差額		△ 51,268,229	△ 1,555,085,654	6,027,678	△ 15,402,238	
前年度繰越収支差額		△ 1,623,208,946	△ 2,881,945,936	△ 2,553,589,335	19,719,773	
翌年度繰越収支差額		△ 1,674,477,175	△ 4,437,031,590	△ 2,547,561,657	4,317,535	
(参考)						
事業活動収入計		59,595,739	5,142,880,543	1,417,958,138	158,332,829	
事業活動収出計		96,141,198	5,175,315,495	1,560,640,629	183,487,145	

貸借対照表

令和 6年 3月31日

(単位 : 円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	16,731,711,748	16,108,638,133	623,073,615
有形固定資産	13,854,080,971	12,741,899,881	1,112,181,090
特定資産	1,400,000,000	2,100,000,000	△ 700,000,000
その他の固定資産	1,477,630,777	1,266,738,252	210,892,525
流動資産	1,575,106,933	2,604,823,709	△ 1,029,716,776
資産の部 合計	18,306,818,681	18,713,461,842	△ 406,643,161
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	340,000,000	540,000,000	△ 200,000,000
流動負債	1,047,464,920	1,017,290,863	30,174,057
負債の部 合計	1,387,464,920	1,557,290,863	△ 169,825,943
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	25,043,106,648	23,664,195,423	1,378,911,225
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	431,000,000	431,000,000	0
繰越収支差額	△ 8,654,752,887	△ 7,039,024,444	△ 1,615,728,443
純資産の部 合計	16,919,353,761	17,156,170,979	△ 236,817,218
負債及び純資産の部 合計	18,306,818,681	18,713,461,842	△ 406,643,161

財 産 目 録

令和 7年 3月31日

(単位 : 円)

科 目	令和6年度末
[1] 資産総額	18,306,818,681
1、基本財産	13,854,080,971
(1) 土地	1,771,561,326
(2) 建物	9,926,213,418
(3) 構築物	350,287,667
(4) 図書	502,021,981
(5) 教具・校具、及び備品	1,289,104,577
(6) 車両	2,419,902
(7) 建設仮勘定	12,472,100
2、運用財産	4,452,737,710
(1) 預金、現金	1,462,476,069
(2) 特定資産	1,400,000,000
(3) 保険積立金	322,369,370
(4) 有価証券	902,053,582
(5) 未収入金	87,076,623
(6) 立替金	17,049,164
(7) 前払金	1,377,041
(8) 仮払金	1,828,036
(9) 電話加入権	952,358
(10) 施設利用権	3,078,431
(11) 出資金	600,000
(12) 敷金	9,281,901
(13) ソフトウェア	12,051,028
(14) 収益事業元入金	211,344,107
(15) 長期貸付金	15,900,000
(16) 短期貸付金	5,300,000
[2] 負債総額	1,387,464,920
1、固定負債	340,000,000
(1) 長期借入金	340,000,000
2、流動負債	1,047,464,920
(1) 短期借入金	200,000,000
(2) 未払金	100,814,886
(3) 前受金	697,947,280
(4) 預り金	48,702,754

3-2 事業活動収支計算の推移

(単位:円)

学 園	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収入	6,283,976,978	6,476,998,296	6,607,954,720	6,776,401,679	6,726,816,943
経常支出	6,194,753,624	6,294,496,643	6,590,845,125	6,589,015,287	6,945,894,780
経常収支差額	89,223,354	182,501,653	17,109,595	187,386,392	△ 219,077,837
人件費	3,387,604,565	3,476,826,524	3,595,132,649	3,658,269,230	3,687,885,338
教育研究経費	2,373,041,968	2,371,309,142	2,385,295,253	2,373,141,259	2,664,839,419
管理経費	434,024,791	446,337,964	608,550,635	551,657,173	586,886,930
その他	82,300	23,013	1,866,587	5,947,625	4,713,093

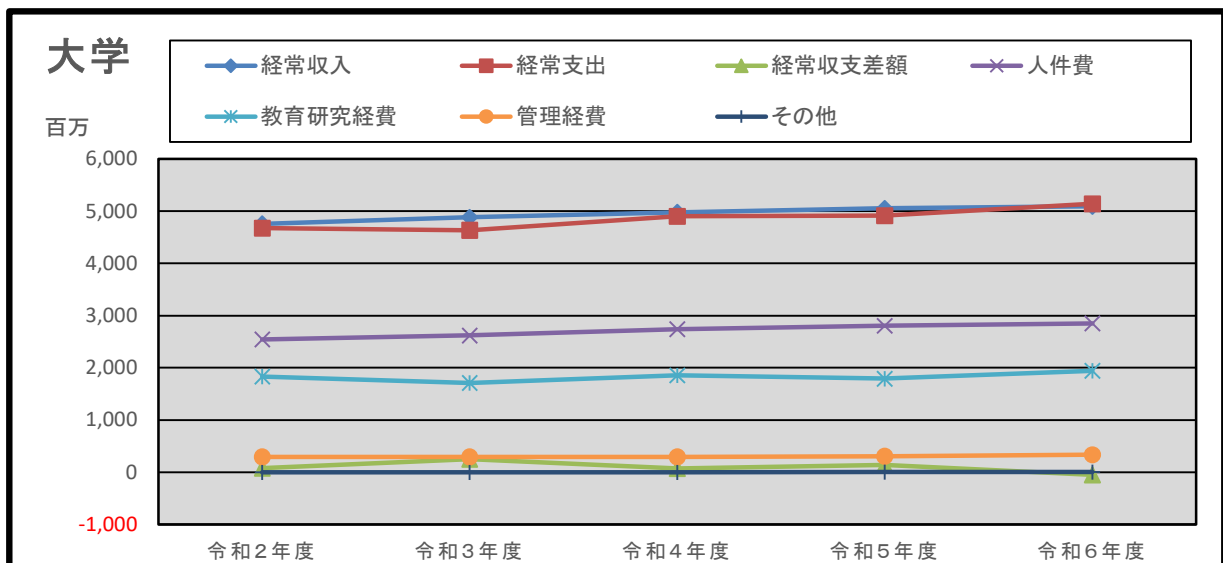
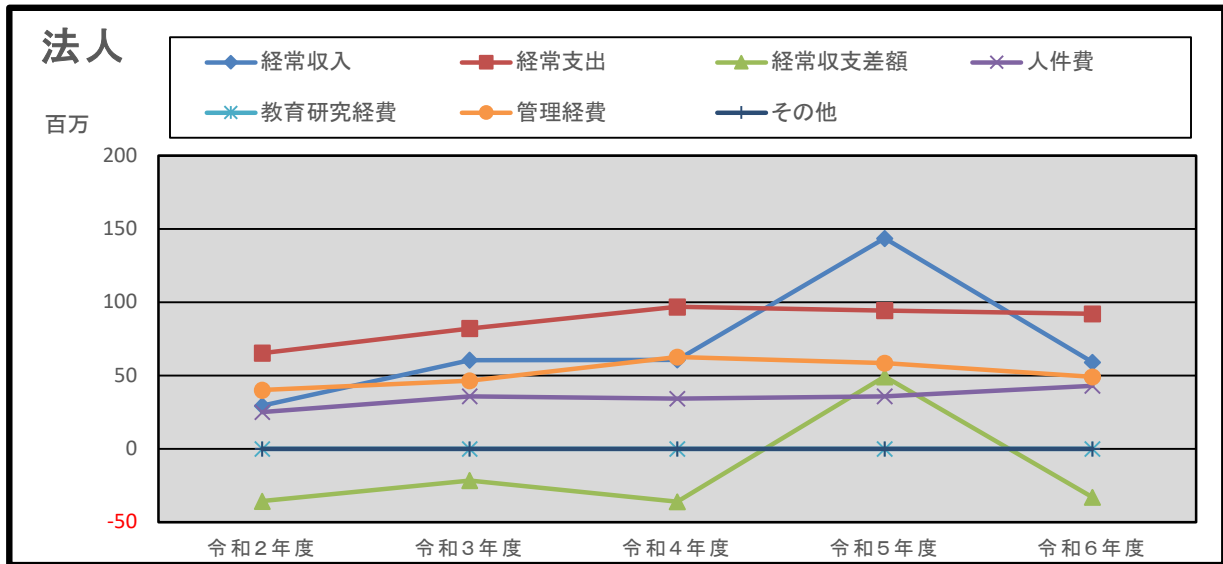
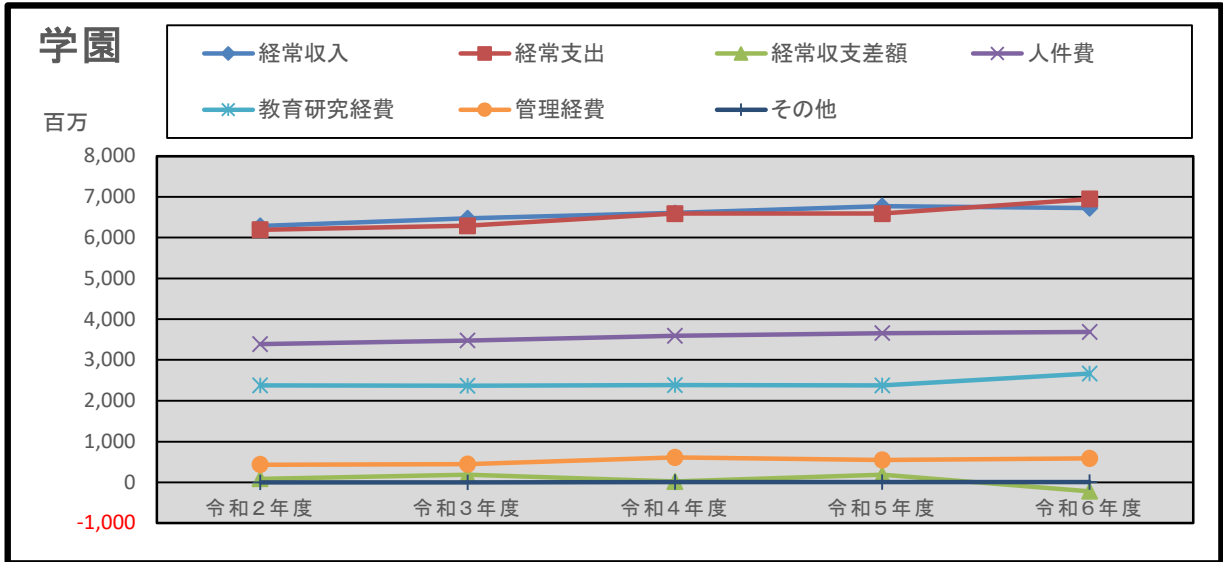
法 人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収入	29,395,580	60,538,513	60,777,707	143,594,901	59,028,450
経常支出	65,196,792	82,193,914	96,894,861	94,387,673	92,041,065
経常収支差額	△ 35,801,212	△ 21,655,401	△ 36,117,154	49,207,228	△ 33,012,615
人件費	25,150,428	35,748,076	34,216,175	35,908,540	43,017,406
教育研究経費	0	0	0	0	0
管理経費	40,046,364	46,445,838	62,678,686	58,479,133	49,023,659
その他	0	0	0	0	0

大 学	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収入	4,754,348,632	4,882,465,321	4,974,201,555	5,051,236,697	5,091,600,023
経常支出	4,671,704,031	4,630,936,937	4,901,198,714	4,911,212,263	5,139,187,918
経常収支差額	82,644,601	251,528,384	73,002,841	140,024,434	△ 47,587,895
人件費	2,541,451,653	2,621,612,112	2,742,114,097	2,806,413,014	2,851,612,026
教育研究経費	1,831,677,883	1,712,262,676	1,859,741,110	1,794,256,235	1,944,002,281
管理経費	298,492,195	297,062,149	299,188,165	305,929,345	338,288,818
その他	82,300	0	155,342	4,613,669	3,714,793

高 校	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収入	1,305,597,207	1,341,287,341	1,396,610,374	1,404,494,212	1,417,855,641
経常支出	1,280,141,239	1,383,582,027	1,413,016,576	1,400,780,446	1,532,340,935
経常収支差額	25,455,968	△ 42,294,686	△ 16,406,202	3,713,766	△ 114,485,294
人件費	724,050,672	711,743,327	712,164,273	705,857,679	680,613,030
教育研究経費	470,385,253	577,000,385	461,234,266	514,016,427	658,152,756
管理経費	85,705,314	94,815,302	237,906,792	179,572,384	192,576,849
その他	0	23,013	1,711,245	1,333,956	998,300

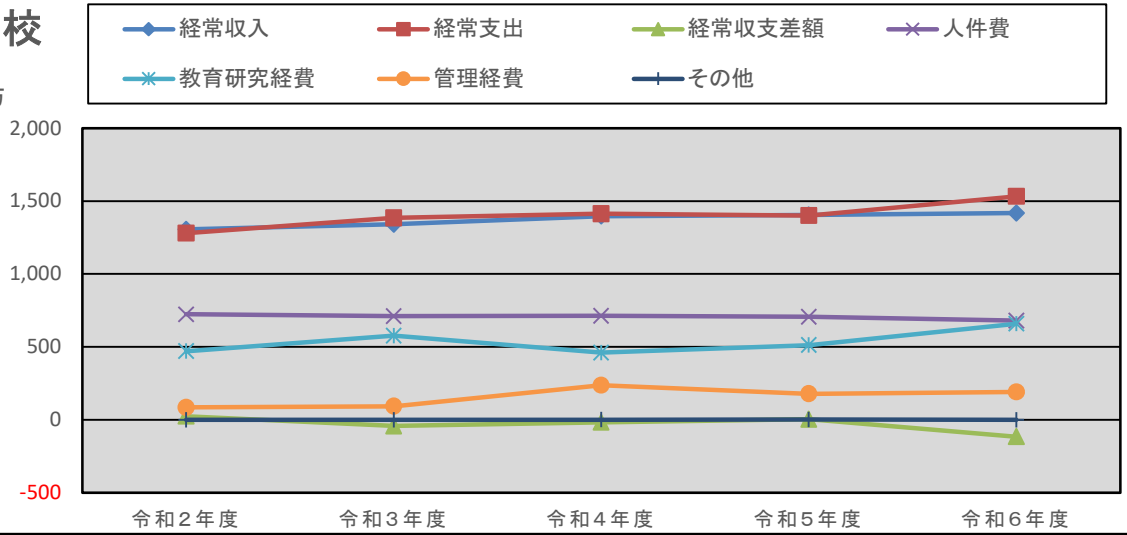
幼稚園	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収入	194,635,559	192,707,121	176,365,084	177,075,869	158,332,829
経常支出	177,711,562	197,783,765	179,734,973	182,634,905	182,324,862
経常収支差額	16,923,997	△ 5,076,644	△ 3,369,889	△ 5,559,036	△ 23,992,033
人件費	96,951,812	107,723,009	106,638,104	110,089,997	112,642,876
教育研究経費	70,978,832	82,046,081	64,319,877	64,868,597	62,684,382
管理経費	9,780,918	8,014,675	8,776,992	7,676,311	6,997,604
その他	0	0	0	0	0

3-3 事業活動収支計算の推移のグラフ



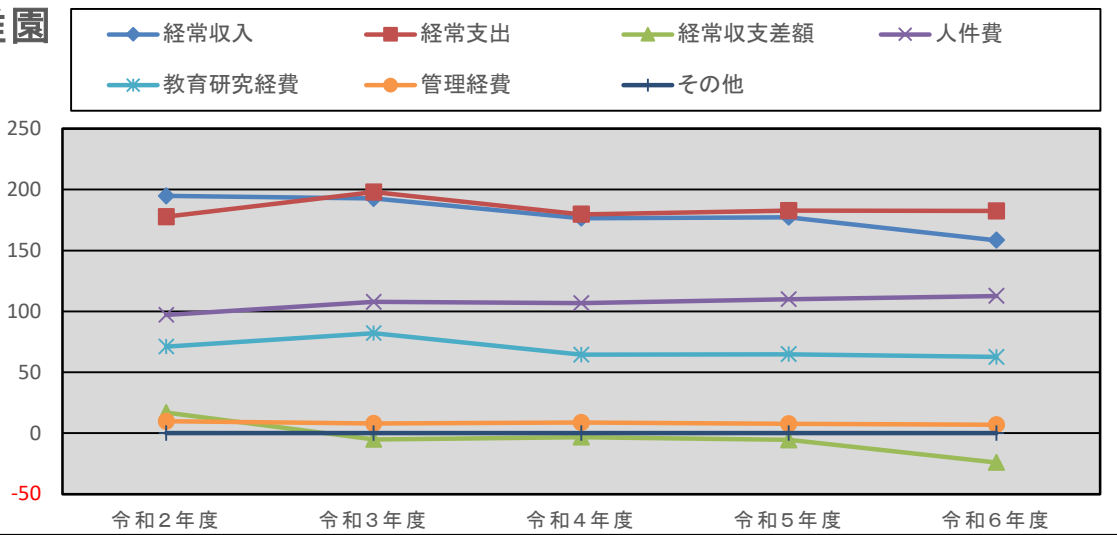
高校

百万



幼稚園

百万



3-4 財務比率の推移

○事業活動収支計算書関係比率(法人全体)

(%)

比率	算式(×100)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	全国平均
人件費比率▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	53.9	54.0	54.4	54.0	54.8	45.7
人件費依存率▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	73.6	73.4	73.9	75.7	76.8	58.9
教育研究経費比率△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	37.8	36.9	36.1	35.0	39.6	40.2
管理経費比率▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	6.9	6.9	9.2	8.1	8.7	6.6
事業活動収支差額比率△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	1.9	3.5	△ 0.1	3.3	△ 3.5	8.5
学生生徒等納付金比率～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	73.2	73.6	73.6	71.3	71.4	77.7
寄付金比率△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	1.0	2.1	1.2	1.0	1.9	1.4
補助金比率△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	19.3	17.5	17.8	18.0	18.5	11.5
経常収支差額比率△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	1.4	2.8	0.3	2.8	△ 3.3	10.7
教育活動収支差額比率△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	1.0	2.1	△ 0.2	1.1	△ 3.8	5.0

(注) 全国平均の比率は、日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」における系統別大学部門(薬 他複数学部)の令和5年度の平均値である。

比率項目横の印は、一般的な財務比率の高低の評価で △=高い値が良い ▼=低い値が良い ～どちらともいえない を示している。

○貸借対照表関係比率

(%)

比率	算式(×100)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	全国平均
固定資産構成比率▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	86.0	83.0	81.6	86.1	91.4	85.8
流動資産構成比率△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	14.0	17.0	18.4	13.9	8.6	14.2
純資産構成比率△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	95.3	93.7	90.5	91.7	92.4	88.2
固定比率▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	90.2	88.7	90.1	93.9	98.9	97.3
流動比率△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	299.8	337.6	335.7	256.1	150.4	267.1
前受金保有率△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	348.1	395.0	455.6	357.6	209.5	390.9
基本金比率△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	99.6	98.6	97.4	99.9	97.5

(注) 全国平均の比率は、日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」における私立大学(医歯系法人を除く)の令和5年度の平均値である。

比率項目横の印は、一般的な財務比率の高低の評価で △=高い値が良い ▼=低い値が良い を示している。

3-5 資金収支計算書

「資金収支計算書」は学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する、すべての収入・支出の内容を明らかにするものであり、かつ支払い資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

3-6 資金収支計算書 収入の部

学生生徒等納付金収入 予算4,811,300千円に対し決算4,802,832,600円で8,467,400円の減額、手数料収入 予算82,100千円に対し決算81,457,160円で642,840円の減額、寄付金収入 予算149,300千円に対し決算154,920,278円で5,620,278円の増額、補助金収入 予算1,221,100千円に対し決算1,264,785,111円で43,685,111円の増額、資産売却収入 予算100,200千円に対し決算156,672,831円で56,472,831円の増額、付随事業・収益事業収入は主に学生寮寮費及び学生駐車場の利用料、受託・共同研究費の収入、高等学校オアシスの利用料であり、予算217,000千円に対し決算228,058,335円で11,058,335円の増額、受取利息・配当金収入 予算27,600千円に対し決算37,298,617円で9,698,617円の増額、雑収入 予算156,300千円に対し決算194,654,842円で38,354,842円の増額、借入金等収入 予算0円に対し決算0円で増減なし、前受金収入 予算643,300千円に対し決算697,947,280円で54,647,280円の増額、その他の収入 予算900,000千円に対し決算876,279,663円で23,720,337円の減額、資金収入調整勘定 予算△750,000千円に対し決算△781,478,323円で31,478,323円の減額、前年度繰越支払資金 予算2,483,000千円に対し決算2,483,000,653円となり、収入の部合計 予算10,041,200千円に対し決算10,196,429,047円で155,229,047円の増額となった。

3-7 資金収支計算書 支出の部

人件費支出 予算3,674,250千円に対し決算3,687,885,338円で13,635,338円の増額、教育研究経費支出 予算2,147,850千円に対し決算2,135,995,592円で11,854,408円の減額、管理経費支出 予算538,750千円に対し決算538,877,781円で127,781円の増額、借入金等利息支出 予算4,700千円に対し決算4,713,093円で13,093円の増額、借入金等返済支出 予算200,000千円に対し決算200,000千円で増減なし、施設関係支出 予算1,312,350千円に対し決算1,316,438,816円で4,088,816円の増額、尚この支出には、土地支出として大学女子寮敷地購入費、建物支出として大学保健医療学部新校舎建設費、新アリーナ建設費、水泳・飛び込み競技陸上練習場(ドライランド)建設費及び女子寮購入費、構築物支出として保健医療学部新校舎及び新アリーナ駐車場等造成工事、建設仮勘定として心理学科校舎建設における設計監理料が計上されている。設備関係支出 予算412,050千円に対し決算422,699,258円で10,649,258円の増額、資産運用支出 予算357,650千円に対し決算386,798,637円で29,148,637円の増額、その他の支出 予算133,900千円に対し決算143,143,404円で9,243,404円の増額、資金支出調整勘定 予算△51,800千円に対し決算△102,598,941円で50,798,941円の減額となり、次年度繰越支払資金 予算1,291,500千円に対し決算1,462,476,069円で170,976,069円の増額となり、支出の部合計 予算10,041,200千円に対し決算10,196,429,047円で155,229,047円の増額となった。

3-8 活動区分資金収支計算書

教育活動による資金収支 教育活動資金収入計6,689,518,326円に対し教育活動資金支出計6,362,758,711円で差引326,759,615円に調整勘定等27,677,608円を加算した結果、教育活動資金収支差額354,437,223円となった。
施設整備等活動による資金収支 施設整備等活動資金収入計37,190,000円に対し施設整備等活動資金支出計1,739,138,074円で差引△1,701,948,074円に調整勘定等10,704,000円を加算した結果、施設整備等活動資金収支差額△1,691,244,074円となり、小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)が△1,336,806,851円となった。
その他の活動による資金収支 その他の活動資金収入計983,667,443円に対しその他の活動資金支出計670,286,456円で差引313,380,987円に調整勘定等2,901,280円を加算した結果、その他の活動資金収支差額316,282,267円となった。
この結果、支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)△1,020,524,584円を前年度繰越支払資金2,483,000,653円に加算し翌年度繰越支払資金1,462,476,069円となった。

3-9 事業活動収支計算書

教育活動収支 教育活動収入計 予算6,596,100千円に対し決算6,689,518,326円で93,418,326円の増額、教育活動支出計 予算6,943,750千円に対し決算6,941,181,687円で2,568,313円の減額となり教育活動収支差額 予算△347,650千円に対し決算△251,663,361円で95,986,639円の増額となった。

教育活動外収支 教育活動外収入計 予算27,600千円に対し決算37,298,617円で9,698,617円の増額、教育活動外支出計 予算4,700千円に対し決算4,713,093円で13,093円の増額となり教育活動外収支差額 予算22,900千円に対し決算32,585,524円で9,685,524円の増額で、経常収支差額 予算△324,750千円に対し決算△219,077,837円で105,672,163円の増額となった。

特別収支 特別収入計 予算50,050千円に対し決算51,950,306円で1,900,306円の増額、特別支出計 予算69,700千円に対し決算69,689,687円で10,313円の減額となり特別収支差額 予算△19,650千円に対し決算△17,739,381円で1,910,619円の増額となった。

基本金組入前当年度収支差額 予算△364,400千円に対し決算△236,817,218円で127,582,782円の増額、基本金組入額合計 予算△1,360,650千円に対し決算△1,378,911,225円で18,261,225円の減額となり、当年度収支差額 予算△1,725,050千円に対し決算△1,615,728,443円で109,321,557円の増額、前年度繰越収支差額 予算△7,039,100千円に対し決算△7,039,024,444円で75,556円の増額、翌年度繰越収支差額 予算△8,764,150千円に対し決算△8,654,752,887円で109,397,113円の増額となった。

3-10 貸借対照表

○ 資産の部

固定資産 本年度末16,731,711,748円に対し前年度末16,108,638,133円で623,073,615円の増額、流動資産 本年度末1,575,106,933円に対し前年度末2,604,823,709円で1,029,716,776円の減額となり、資産の部合計 本年度末18,306,818,681円に対し前年度末18,713,461,842円で406,643,161円の減額となった。

○ 負債の部

固定負債 本年度末340,000,000円に対し前年度末540,000,000円で200,000,000円の減額、流動負債 本年度末1,047,464,920円に対し前年度末1,017,290,863円で30,174,057円の増額であり、負債の部合計 本年度末1,387,464,920円に対し前年度末1,557,290,863円で169,825,943円の減額となった。

○ 純資産の部

基本金 本年度末25,574,106,648円に対し前年度末24,195,195,423円で1,378,911,225円の増額、繰越収支差額 本年度末△8,654,752,887円に対し前年度末△7,039,024,444円で1,615,728,443円の減額であり、純資産の部合計が本年度末16,919,353,761円に対し前年度末17,156,170,979円で236,817,218円の減額となった。この結果、負債及び純資産の部合計本年度末18,306,818,681円に対し前年度末18,713,461,842円で406,643,161円の減額となった。

監 査 報 告 書

学校法人 高崎健康福祉大学
理事長 須藤 賢一 殿

令和7年5月23日

学校法人 高崎健康福祉大学

監 事 永井 乙彦



監 事 高橋 永一



私たち監事は、私立学校法第52条各号及び学校法人高崎健康福祉大学寄附行為第29条各号の定めに基づき、令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の法人の財産の状況又は理事の業務の執行及び学校法人の業務の執行および決定の状況を監査いたしました。その結果につき下記のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会、評議員会に出席したほか、学校法人の業務の執行、理事から業務執行および財産の状況につき説明を求め、報告を聴取しました。また、会計監査人である「柄澤公認会計士事務所」、「兒島公認会計士事務所」と連携を図り、計算書類につき検討を加えた。

2. 監査の結果

- (1) 財産目録、事業報告書、貸借対照表及び収支計算書は、法令及び寄附行為に従い法人の財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務の執行、理事の業務の執行に関しては、不正の行為がなく、かつ、法令及び寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上

所在地

法人本部・健康福祉学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町37-1

TEL 027-352-1290 FAX 027-353-2055

URL <https://www.takasaki-u.ac.jp>

薬学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60

TEL 027-352-1180 FAX 027-352-1118

保健医療学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町27

TEL 027-352-1291 FAX 027-352-1985

人間発達学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町58-2

TEL 027-352-5558 FAX 027-352-1311

農学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町54

TEL 027-388-8390 FAX 027-388-8393

高等学校

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町531

TEL 027-352-3460 FAX 027-353-0855

URL <https://www.tuhw-h.ed.jp>

幼稚園

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町506-1

TEL 027-352-3461 FAX 027-352-7180

URL <https://takasaki-u-kinder.com>

クリニック

〒370-0036 群馬県高崎市南大類町200-2

TEL 027-388-8840 FAX 027-388-8860

URL <https://www.kendai-clinic.jp>